

播陽証券 ＝注目・外株銘柄＝ (2026年9月)

【米国市場・20銘柄掲載】

<新規>

P1【AIデータセンター】 ネビウス・グループ (NBIS)

P2【大手製薬】 イーライリリー (LLY)

P3【バイオ医薬品】 ロイヤリティ・ファーマシューティカルズ (RPRX)

<継続>

P4【マグニフィセント7】 エヌビディア (NVDA)

P5【マグニフィセント7】 アップル (AAPL)

P6【マグニフィセント7】 アルファベット (GOOGL)

P7【マグニフィセント7】 マイクロソフト (MSFT)

P8【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム (AMZN)

P9【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ (META)

P10【マグニフィセント7】 テスラ (TSLA)

P11【宇宙・AI】 スペースX (SPCX)

P12【電力設備】 GEベルノバ (GEV)

P13【半導体】 マイクロン・テクノロジー (MU)

P14【半導体】 アドバンスト・マイクロ・デバイセズ (AMD)

P15【半導体】 マーベル・テクノロジー (MRVL)

P16【半導体】 セレブラス・システムズ (CBRS)

P17【投資銀行】 ゴールドマン・サックス (GS)

P18【ネットワーク機器】 シスコシステムズ (CSCO)

P19【データ解析】 パランティア・テクノロジーズ (PLTR)

P20【セキュリティ】 データドッグ (DDOG)

(株価データ、株価指標は現地2026年8月27日現在)

<新規>

欧州拠点のネオクラウド(新興AIデータセンター運営)企業

糖尿病・肥満症薬で世界をリードする製薬大手

薬のロイヤリティ(特許使用料)に投資する会社

<継続>

AI計算のGPUでトップに君臨する半導体開発企業

デジタルIT機器の設計・販売大手

インターネット検索世界最大手

ソフトウェア世界最大手

インターネット小売世界最大手

SNS運営世界最大手

米電気自動車(EV)大手

6月に上場したE.マスク氏設立の宇宙開発・AIインフラ企業

電力設備の世界最大手

米国を代表するDRAM・NANDメモリ大手

CPUからFPGA・GPUまで多品種を揃える半導体メーカー

M&Aで光通信部品も強化したASIC大手

「巨大チップ」技術でAIインフラ構築を狙う新興企業

大きく変容する資本市場のプロデューサー

ソフトウェア・セキュリティを強化するネットワーク機器世界大手

防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供

AI監視で成長するクラウド型可観測ツールの世界最大手

欧州拠点のネオクラウド(新興AIデータセンター運営)企業

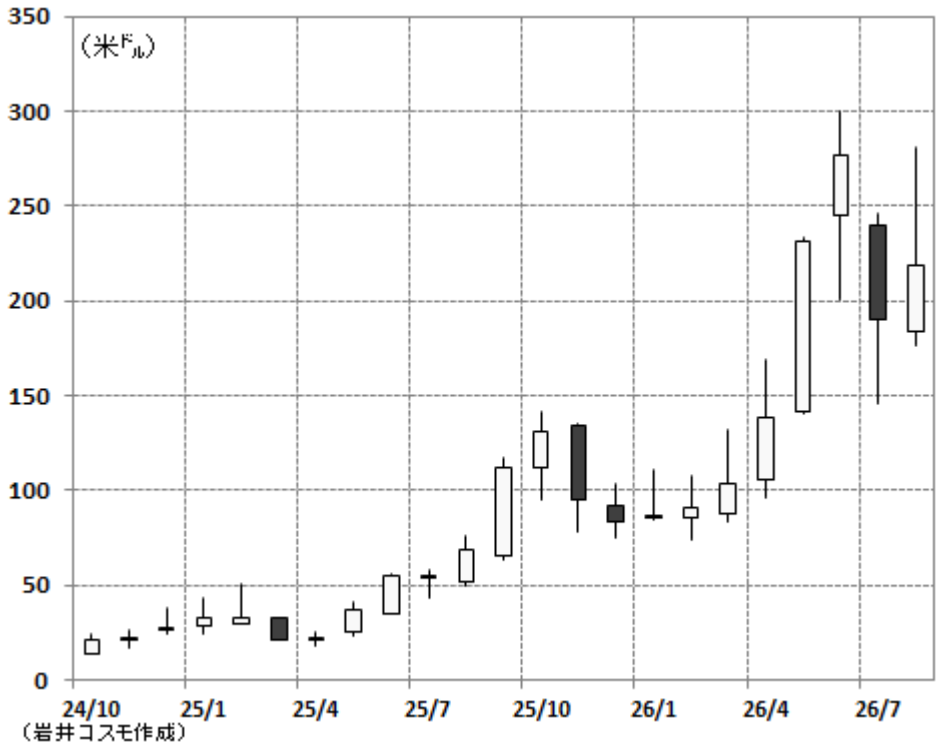
会 社 概 要

旧ロシアIT大手のヤンデックスの再編に伴い、2024年に再出発したオランダのAIインフラ特化企業。本社はアムステルダム。生成AIの学習・推論に特化した最新鋭GPUをクラウドで提供する「ネオクラウド」の代表格。汎用クラウドと異なりAI開発企業に最適化された計算資源を提供し急成長中、大口顧客はマイクロソフトやメタなど。ほか自動運転開発や教育テックも傘下に抱える。2026年6月にナスダック100指数に採用。

注 目 ポ イ ン ト

□ **AIクラウド急成長**：4-6月期売上高は454%増の5.82億ドル。主力のAIクラウド部門が同514%増の5.75億ドルと牽引。調整後EBITDAは2.36億ドルと2四半期連続で黒字化。需要逼迫を受け割高な短期契約やオークション方式を導入し価格決定力を発揮。400億ドル超の巨額受注残を抱え、26年通期前受金は90億ドル超の見込み。

□ **電力確保とアセットライトで成長**：ハードとソフトを一体化した「フルスタックAIクラウド」が強み。旺盛なAI需要に対応し、26年末までの確保電力目標を5ギガワットに上方修正。27年以降は毎年1ギガワット以上の新規稼働を目指す。提携企業がDC等の物理設備を担う「アセットライト・モデル」を導入、投資負担を軽減しつつ高収益な体制確立を目指す。



株価データ	
株 価(米ドル)	218.48 (08/27)
52週高値(日付)	299.65 (26/06/22)
52週安値(日付)	63.3 (25/09/05)
時 価 総 額	628億ドル 10兆0.172億円
株価変化率(%)	139.6 (過去6ヶ月間) 211.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	42.0 (倍)
PBR	5.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	0.9 (%)
株式ベータ	2.16 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	92	—	-400	—	-641	—	-2.28	0.00
2025/12	530	5.8倍	-612	赤継	83	黒転	0.33	0.00
四半期業績								
2025/Q2	105	—	-111	—	584	—	2.38	0.00
2026/Q2	582	5.5倍	-176	赤継	-190	赤転	-0.68	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

世界屈指の時価総額を誇るメガファーマ、糖尿病・肥満症薬市場をリード

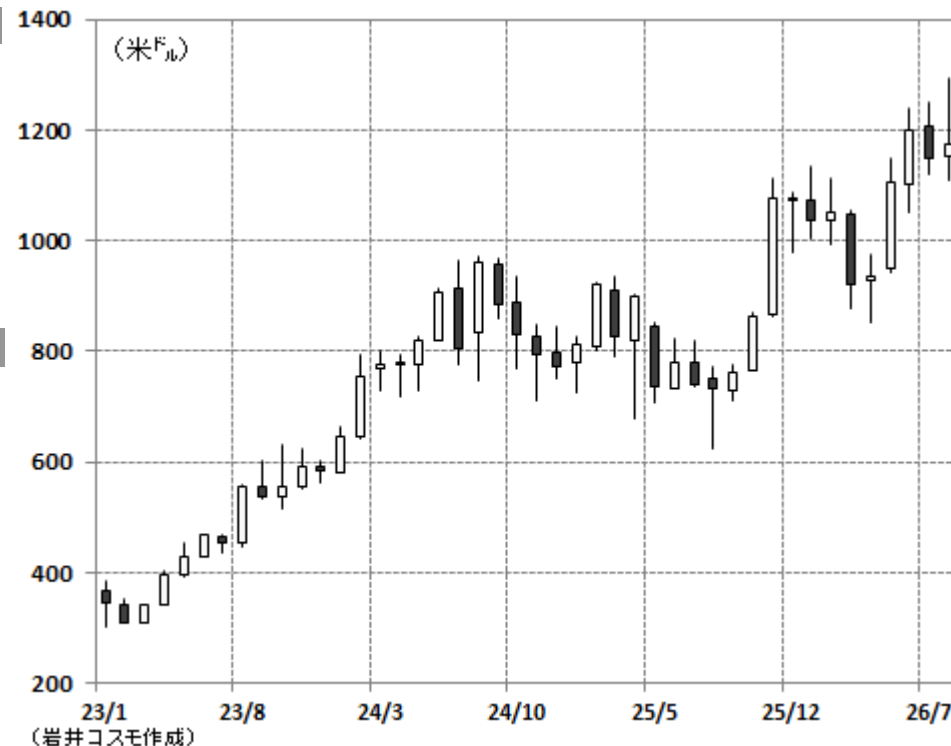
会 社 概 要

1876年創立。糖尿病や肥満症領域に強みを持つ米製薬大手。主力製品は2型糖尿病治療薬「マンジャロ」や肥満症治療薬「セップ・ハウン」で、需要が世界的に爆発している。がん、自己免疫疾患などの領域でも革新的な新薬を展開し、24年7月にはアルツハイマー病治療薬「キスラ」が米FDAの承認を取得した。旺盛な需要に応えるため生産能力の増強に巨額投資を行う。本社はインディアナ州インディアナポリス。

注 目 ポ イ ン ト

□**主力薬好調、通期見通し上方修正**：4-6月期は48%増収の229.7億ドルと市場予想を上振れた。主力薬の需要拡大により販売数量が60%増と堅調な伸びを示し、単価下落を補って成長。特に糖尿病薬「マンジャロ」が同91%増の99.4億ドル、肥満症薬「セップ・ハウン」が同46%増の49.3億ドルと好調。これを受け、26年度通期売上高見通しを850億～870億ドルへ上方修正した。

□**新薬開発が充実**：経口GLP-1受容体作動薬「ファウンダヨ」が米国の高齢者向けプログラム開始等により成長軌道に乗り始めた。加えてより大きな減量効果と併存疾患改善を狙う新薬候補の三重作動薬「レトルチド」は27年第1四半期の米FDA承認申請を予定している。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	1176.1 (08/27)
52週高値(日付)	1292.6 (26/08/19)
52週安値(日付)	712.13 (25/09/25)
時 価 総 額	11,071億ドル 176兆4655億円
株価変化率(%)	11.8 (過去6ヶ月間) 60.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	33.0 (倍)
株価売上高比率	13.2 (倍)
PBR	32.7 (倍)
税前配当利回り(%)	0.59 (直近年率)
配当成長率(%)	15.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	102.4 (%)
株式ベータ	0.67 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	45,043	32	12,680	93	10,590	102	11.71	5.20
2025/12	65,179	45	25,731	103	20,640	95	22.95	6.00

四半期業績

2025/Q2	15,558	—	6,776	—	5,661	—	6.29	1.50
2026/Q2	22,974	48	9,247	36	7,095	25	7.94	1.73

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ロイヤリティ・ファーマシューティカルズ (RPRX)

医薬品会社から既存薬・新薬候補の使用権を買い取るユニークな事業モデルを構築

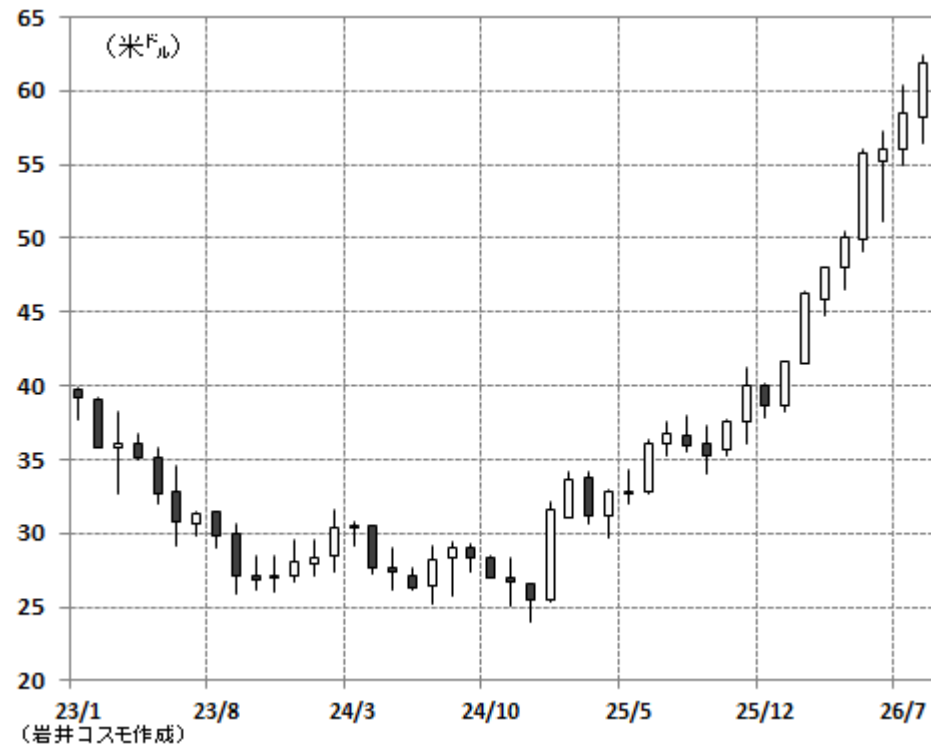
会 社 概 要

1996年創立のバイオ医薬品の特許権使用料(ロイヤリティ)を買い取る特殊なビジネスモデルを展開する世界最大の企業。自社で創薬や臨床試験は行わず、大学や研究機関、製薬会社に資金を提供する見返りとして将来の販売額に応じた権利を取得する。世界的なブロックバスター(大ヒット薬)を含む35以上の承認済み医薬品のロイヤリティを保有。2020年6月にナスダック市場に上場。本社はニューヨーク。

注 目 ポ イ ン ト

□ **安定した事業モデル**: 収益源は複数領域の主力薬に分散され、新薬開発の失敗リスクを回避しつつ安定したポートフォリオ受領金を生み出す点が強み。26年度のポートフォリオ受領金は34.0億-35.0億ドルと見込むなど、特定の薬の特許切れによる悪影響を和らげるため、新規案件への投資を継続。製薬業界では研究開発費が高騰する中、資金の出し手として存在感とニースは高まり続けている。

□ **有望新薬へ資本投下**: 手元資金は豊富で大学やバイオベンチャーからの特許買い取りを加速。今年はアストラゼネカのAMT031除去抗体薬「クリミック」等、有望新薬候補に対して数億ドル超規模の戦略投資を実行。株主還元では毎年「1桁台半ば」の増配目標を掲げる。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	2,264	-4	1,292	-13	859	-24	1.91	0.840
2025/12	2,378	5	1,560	21	771	-10倍	1.78	0.880

四半期業績

2025/Q2	579	—	210	—	32	—	0.07	0.220
2026/Q2	674	16	133	-37	18	-44	0.04	0.235

株価データ	
株 価(米ドル)	61.92 (08/27)
52週高値(日付)	62.445 (26/08/25)
52週安値(日付)	34.1 (25/09/08)
時 価 総 額	358億ドル 5兆7,029億円
株価変化率(%)	34.0 (過去6ヶ月間) 71.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	33.3 (倍)
株価売上高比率	11.3 (倍)
PBR	5.2 (倍)
税前提当利回り(%)	1.52 (直近年率)
配当成長率(%)	6.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	12.4 (%)
株式ベータ	0.42 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握

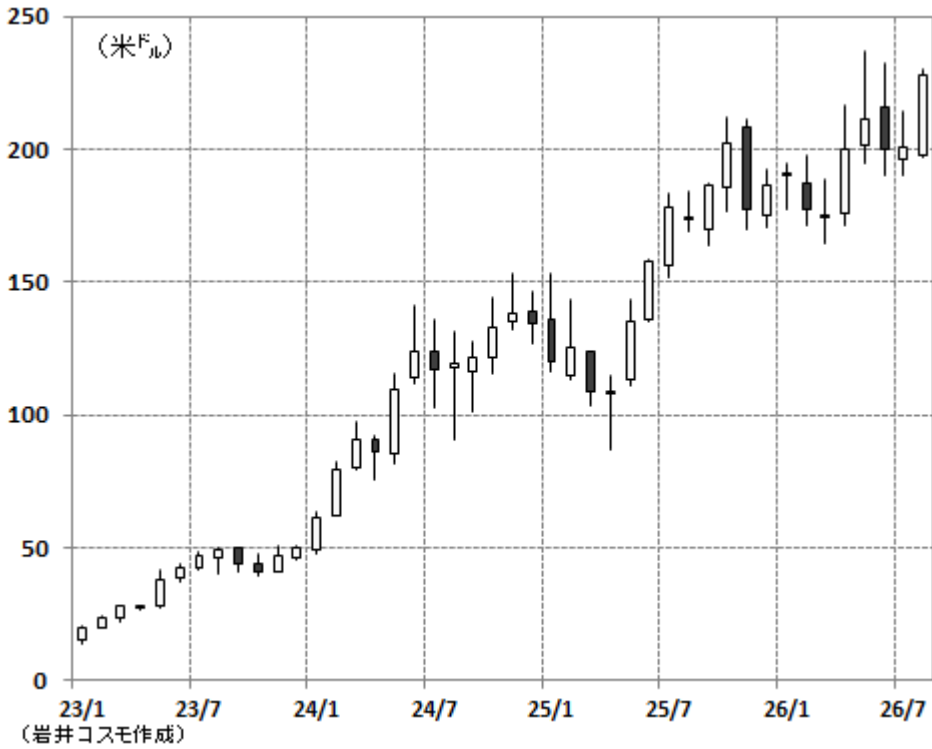
会 社 概 要

1993年設立の米半導体大手。PCゲーム向けの画像処理半導体(GPU)の開発からスタートしたが、現在はデータセンター(DC)向けのAI用半導体で世界市場を高いシェアを有する。ハードウェアだけでなく、AI開発に不可欠なソフトウェア基盤「CUDA」を提供、他社の追随を許さない強力なエコシステムを構築。用途別売上構成は、DC向けが90%、ゲーム向けが7%、プロ視覚化が1.5%、自動車が1.1%、OEM&IPが0.3%(前期)。

注 目 ポ イ ン ト

□**強気見通し**：5-7月期決算は現行GPU「ブラックウェル」の量産等が寄与し、売上・純利益共に前年同期比倍増。旺盛なデータセンターAI投資の継続を理由に、28年度売上高も約70%増と強気な見通しを公表。11-1月期の粗利益率の底打ち見通しや次世代GPU「ベラルーベン」の順調な展開、CPU販売倍増など成長持続性を強調した。

□**5000億ドルの資金調達網が始動**：エヌビディアは米金融大手6社と8月に提携し、5000億ドル規模の「AIインフラ資金調達プラットフォーム」を設立した。これにより顧客は巨額の資金調達が容易になり、同社は自社の財務リスクを抑えつつ次世代AI半導体の爆発的な需要を確実に取り込める。AI市場での覇権を盤石にする構え。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	227.98 (08/27)
52週高値(日付)	236.54 (26/05/14)
52週安値(日付)	164.07 (25/09/05)
時 価 総 額	5兆4,943億ドル 875兆7393億円
株価変化率(%)	28.7 (過去6ヶ月間) 25.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	32.8 (倍)
株価売上高比率	18.3 (倍)
PBR	24.0 (倍)
税前配当利回り(%)	0.44 (直近年率)
配当成長率(%)	600.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	117.2 (%)
株式ベータ	1.65 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/01	130,497	114	81,453	147	72,880	145	2.94	0.034
2026/01	215,938	65	130,387	60	120,067	65	4.90	0.040
四半期業績								
2026/Q2	46,743	—	28,440	—	26,422	—	1.08	0.010
2027/Q2	96,221	106	63,734	124	59,688	126	2.46	0.250

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

時価総額首位に返り咲いた、スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

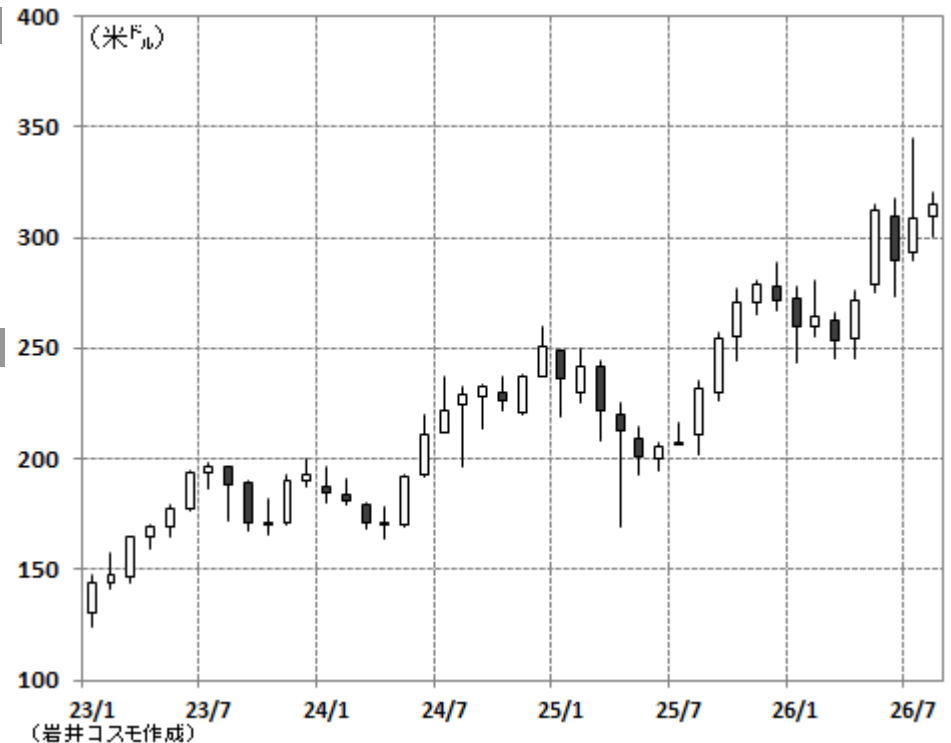
会 社 概 要

スマホ「iPhone」やタブレットPC「iPad」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は長らくクックCEO体制が牽引したが、26年9月にハド部門統括のジョン・ターナス氏が新CEOに就任する。ブランド力を強みに独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。NYダウ工業株平均銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□**iPhone好調も、供給制約が重し**：4-6月期売上高は前年同期比16%増の1094億ドル、1株利益は同29%増の2.02ドルと予想を上回り、第3四半期としては過去最高を更新。「iPhone17」需要が牽引し同部門売上は22%増の543億ドル。一方、中国売上やサービス事業が予想未達となり、先端半導体等の供給制約により7-9月期売上高見通し(9-11%増)は市場予想を若干下回った。

□**9月前半に新製品披露**：9月の新製品発表イベントは、ジョン・ターナス新CEO体制で初となる。注目点は「初の折りたたみ式iPhone」の発表予測、AI機能の具体的な進展、エンタメ強化等々。新CEOによって示される成長ビジョンは投資家にとって重要な情報となりそうである。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	314.58 (08/27)
52週高値(日付)	344.555 (26/07/29)
52週安値(日付)	225.96 (25/09/10)
時 価 総 額	4兆5,910億ドル 731兆7654億円
株価変化率(%)	19.1 (過去6ヶ月間) 36.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	36.1 (倍)
株価売上高比率	9.9 (倍)
PBR	42.7 (倍)
税前提当利回り(%)	0.34 (直近年率)
配当成長率(%)	3.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	148.8 (%)
株式ベータ	1.02 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98
2025/09	416,161	6	133,050	8	112,010	19	7.46	1.02

四半期業績								
2025/Q3	94,036	—	28,202	—	23,434	—	1.57	0.26
2026/Q3	109,417	16	35,695	27	29,789	27	2.02	0.27

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

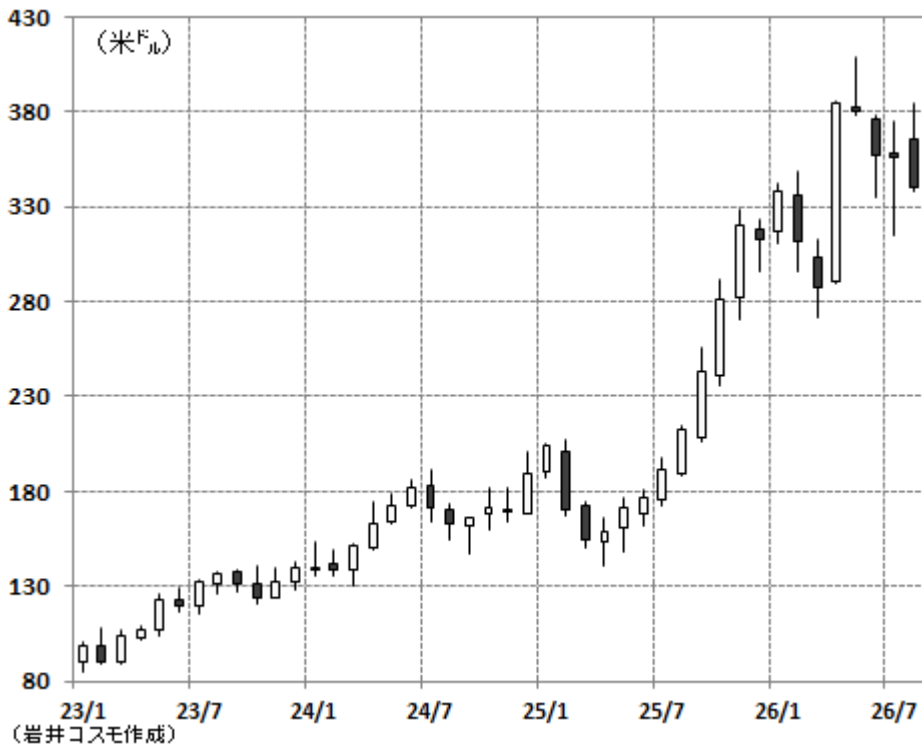
インターネット検索サービス世界最大手、AI技術を活かしてネット広告以外の収益基盤が拡大中

会 社 概 要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトの開発のほか、ロボタクシー事業「ウェイモ」などの事業展開も。2026年6月、NYダウ工業株平均に新規採用された。

注 目 ポ イ ン ト

- **ジェミニ効果と巨額増資**：4-6月期決算はクラウド部門売上が前年同期比82%増の248億ドルと生成AIジェミニ需要を受け大躍進した半面、設備投資増のため上場来初の純現金収支が赤字となった。26年6月にはAIインフラ拡充へバークシャーからの100億ドル出資を含む総額800億ドルの増資を発表し、巨額投資でAI市場の覇権を狙う姿勢を鮮明にした。
- **アンソロピックへ自社製チップを提供**：同社は有力AI新興企業であるアンソロピックに数十億ドル規模を出資しているほか、クラウドの主要顧客として自社製AI半導体(TPU)を大規模に提供するなど、インフラ面で深い協力関係を構築。同社のAI開発基盤をグーグルの技術が直接支える構造となっており、AI領域における自社の競争力強化につなげている。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	340.65 (08/27)
52週高値(日付)	408.6 (26/05/18)
52週安値(日付)	205.73 (25/08/27)
時 価 総 額	4兆1,487億 ^{ドル} 661兆2569億円
株価変化率(%)	9.3 (過去6ヶ月間) 64.2 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	32.9 (倍)
株価売上高比率	9.2 (倍)
PBR	6.7 (倍)
税前提当利回り(%)	0.26 (直近年率)
配当成長率(%)	4.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	49.5 (%)
株式ベータ	1.15 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2024/12	350,018	14	112,390	33	100,118	36	8.04	0.60
2025/12	402,836	15	129,039	15	132,170	32	10.81	0.83
四半期業績								
2025/Q2	96,428	—	31,271	—	28,196	—	2.31	0.21
2026/Q2	119,796	24	40,770	30	112,107	298	9.11	0.22

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で高成長続く

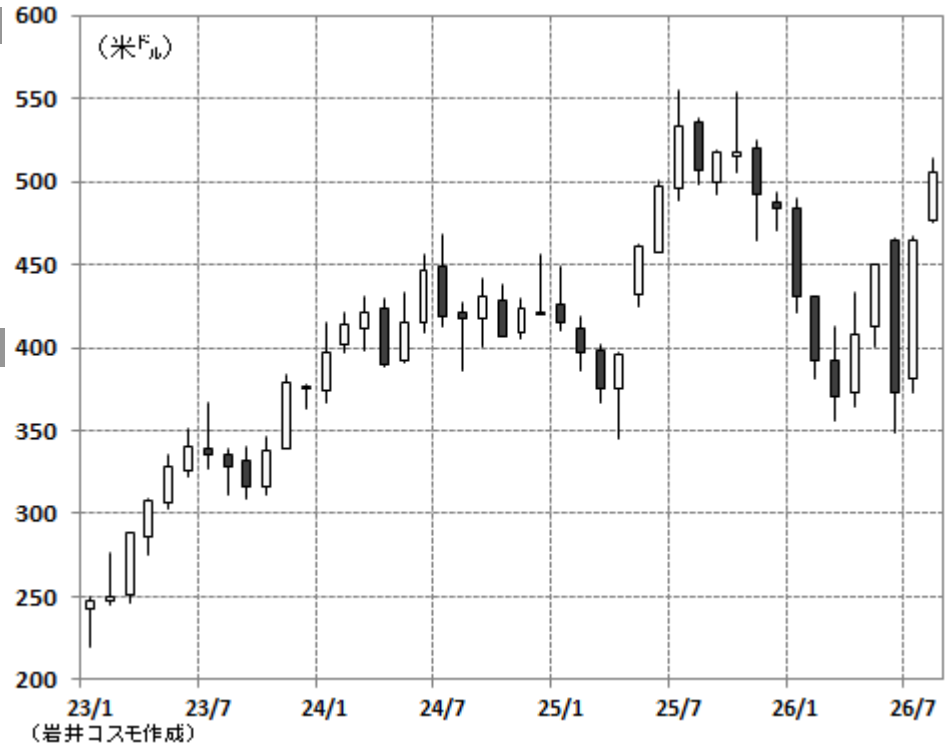
会 社 概 要

1975年創立。PC用OS「ウィンドウズ」や業務ソフト「オフィス」で圧倒的シェアを誇る米IT大手。近年はクラウド基盤「アジュール」が急成長し収益の柱。生成AI分野を強力に牽引しており、対話型AIを手掛けるオープンAIの筆頭株主として協業体制を構築。MSとオープンAIの技術の両方を活用したAI機能「コパイロット」を自社製品群に全面展開し、法人・個人双方で高付加価値化を推進中。NYダウ工業株平均構成銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□ **クラウド成長再加速**：4-6月期売上高は900億ドルと18%増収。アジュールを含むインテリジェント・クラウド部門も32%増の393億ドルと好調で、アジュール単体の成長率は43%へ加速、M365コパイロットの有料ユーザー数も3千万人超を数えた。アジュールの26年度通期売上は初の1千億ドル超を果たし、巨額投資をテコにAI事業収益化が進展した。

□ **オープンAIとの新たな関係**：オープンAIがエクセル内で直接AIを利用できる「ChatGPT for Excel」を26年春に発表し、主力オフィス製品の利便性がさらに高まった。その一方、マイクロソフト自身もエクセルやアウトルックで利用するAIを順次自社製モデルへ切り替える方針を示しており、コスト効率の改善とAI分野での独立性強化が進んでいる。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	505.06 (08/27)
52週高値(日付)	553.49 (25/10/28)
52週安値(日付)	349.2 (26/06/25)
時 価 総 額	3兆7,503億ドル 597兆7676億円
株価変化率(%)	28.6 (過去6ヶ月間) -0.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	30.4 (倍)
株価売上高比率	11.3 (倍)
PBR	8.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.72 (直近年率)
配当成長率(%)	9.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	34.0 (%)
株式ベータ	1.08 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/06	281,724	15	128,528	17	101,832	16	13.64	3.24
2026/06	331,839	18	155,237	21	133,749	31	17.95	3.64

四半期業績								
2025/Q4	76,441	—	34,323	—	27,233	—	3.65	0.83
2026/Q4	90,007	18	40,603	18	35,766	31	4.81	0.91

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

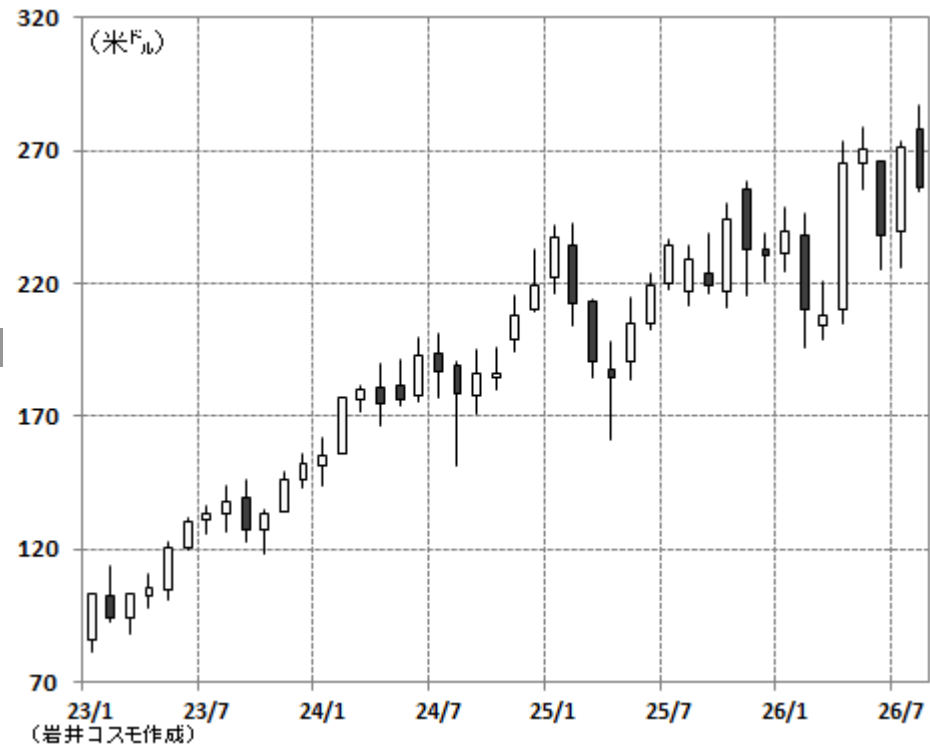
会 社 概 要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントンシアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注 目 ポ イ ン ト

□ **AWSが4年半ぶりの高成長**：4-6月期決算は主力AWS売上高が前年同期比37%増の422億ドルと急加速し、年換算で約1,690億ドル規模に到達。広告事業も同26%増の198億ドルと好調を維持。26年設備投資額見通しを2,200億ドルへと引き上げ、AI投資拡大で純現金収支が赤字転換したが、売上・営業利益の大幅増で吸収した。

□ **二大新興AI企業を囲い込むAWS**：アマゾンはオープンAIに最大500億ドル、アンソロピックに最大330億ドルを出資し、強固な提携を構築。両社とそれぞれ1,000億ドル規模のAWS利用契約を結び、自社製AI半導体「トレニウム」の採用を推進している。主要AI企業を取り込むことで、クラウドとAIインフラの覇権を一段と強固にしている。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	256.26 (08/27)
52週高値(日付)	287.16 (26/08/03)
52週安値(日付)	196.13 (26/02/17)
時 価 総 額	2兆7,641億ドル 440兆5700億円
株価変化率(%)	22.0 (過去6ヶ月間) 11.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	35.6 (倍)
株価売上高比率	3.5 (倍)
PBR	5.0 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	30.6 (%)
株式ベータ	1.32 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2024/12	637,959	11	68,593	86	59,248	95	5.53	0.00
2025/12	716,924	12	79,975	17	77,670	31	7.17	0.00

四半期業績								
2025/Q2	167,702	—	19,171	—	18,164	—	1.68	0.00
2026/Q2	200,606	20	27,461	43	62,647	3.4倍	5.75	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

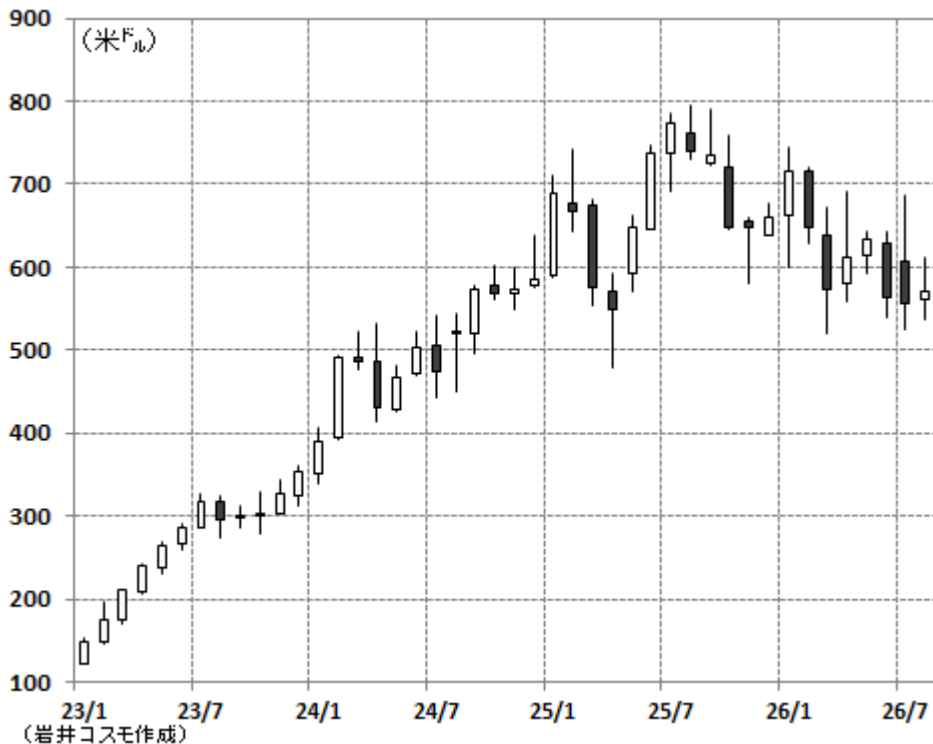
会 社 概 要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(インスタグラム等も含む)は全世界で36億人(26年4-6月期)。創業者マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセスストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は75,742人(26年6月末時点)。

注 目 ポ イ ン ト

□**AIインフラ投資とクラウド参入**：4-6月期決算は売上高が前年同期比28%増の608億ドルと好調。一方、通期の設備投資は最大1450億ドル規模の見通しであり、巨額投資を継続する。この膨大なAIインフラの余剰能力を収益化すべく、新たに「メタ・コンピュータ」の名称で計算資源の貸出し市場の参入・アンソロピックとの契約交渉等が報じられた。

□**SNS依存症裁判で和解**：若年層のSNS依存を巡る米州当局との訴訟で、最大180億ドルの支払いや設計変更で包括的に8月後半に和解、懸念材料が解消された格好。会社側は依存症対策として、未成年者の利用時間制限や夜間利用のブロック、プッシュ通知の停止などの保護策を導入する。未成年の売上構成比は1%未満と微小。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	571.1 (08/27)
52週高値(日付)	790.79 (25/09/19)
52週安値(日付)	520.26 (26/03/27)
時 価 総 額	1兆4,549億ドル 231兆8935億円
株価変化率(%)	-11.9 (過去6ヶ月間) -23.6 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	16.9 (倍)
株価売上高比率	6.3 (倍)
PBR	5.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.37 (直近年率)
配当成長率(%)	2.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	29.8 (%)
株式ベータ	1.40 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86	0.00
2025/12	200,966	22	83,276	20	60,458	-3	23.49	2.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q2	47,516	—	20,441	—	18,337	—	7.14	0.525
2026/Q2	60,801	28	18,775	-8	15,848	-14	6.18	0.525

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

E.マスク氏の下、従来の概念を覆す電気自動車メーカー世界大手

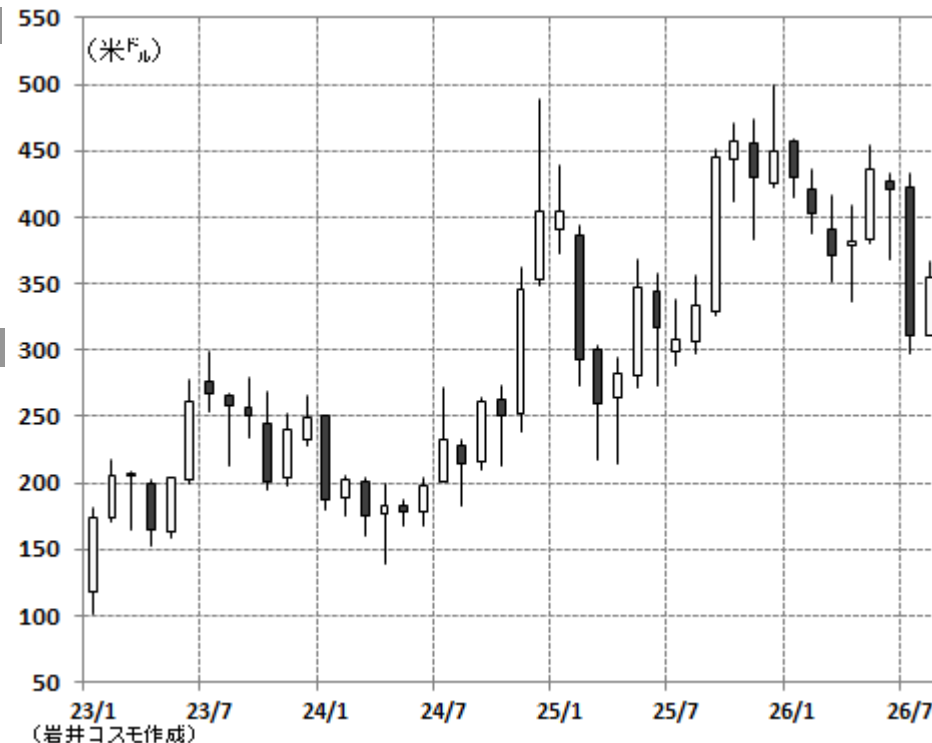
会 社 概 要

2003年創業の世界的な電気自動車(EV)メーカ。高速・長距離走行が可能でEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。25年のEV納車台数は前期比9%減の163.6万台。CEOのイーロン・マスク氏は米政財界で大きな影響力を持ち、宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任する等、世界を代表するカリスマ経営者として知られる。S&P500種構成銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□ **本業EVの復調とエネルギー事業の躍進**：4-6月期は納車台数が約48万台と持ち直し過去最高水準を記録。一方、値下げやAI投資の負担急増等により純利益は同5%減となった。注目すべきはエネルギー事業(蓄電池等)で、導入量が同41%増の13.5GWhと急成長。AIデータセンター需要等を背景に今後の強力な収益柱として期待される。

□ **スペースXとの統合・協業観測**：6月にスペースXが新規上場を果たした後、7月決算会見でE.マスク氏は両社間でAIチップ共同生産等の「重複分野の増加」に直接言及した場面があった。市場では技術・資本の統合が進むとの見方が強まり、将来的な経営統合による巨大テクノロジー企業誕生への関心が一段と高まっている。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	354.81 (08/27)
52週高値(日付)	498.82 (25/12/22)
52週安値(日付)	297.39 (26/07/29)
時 価 総 額	1兆4,013億ドル 223兆3594億円
株価変化率(%)	-11.9 (過去6ヶ月間) 1.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	354.9 (倍)
株価売上高比率	11.1 (倍)
PBR	16.1 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	4.6 (%)
株式ベータ	1.52 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00
2025/12	94,827	-3	4,355	-38	3,794	-46	1.08	0.00
四半期業績								
2025/Q2	22,496	—	923	—	1,172	—	0.33	0.00
2026/Q2	28,236	26	398	-57	1,114	-5	0.32	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ロケット輸送から次世代AIまで一手に担う、圧倒的スケールの垂直統合企業

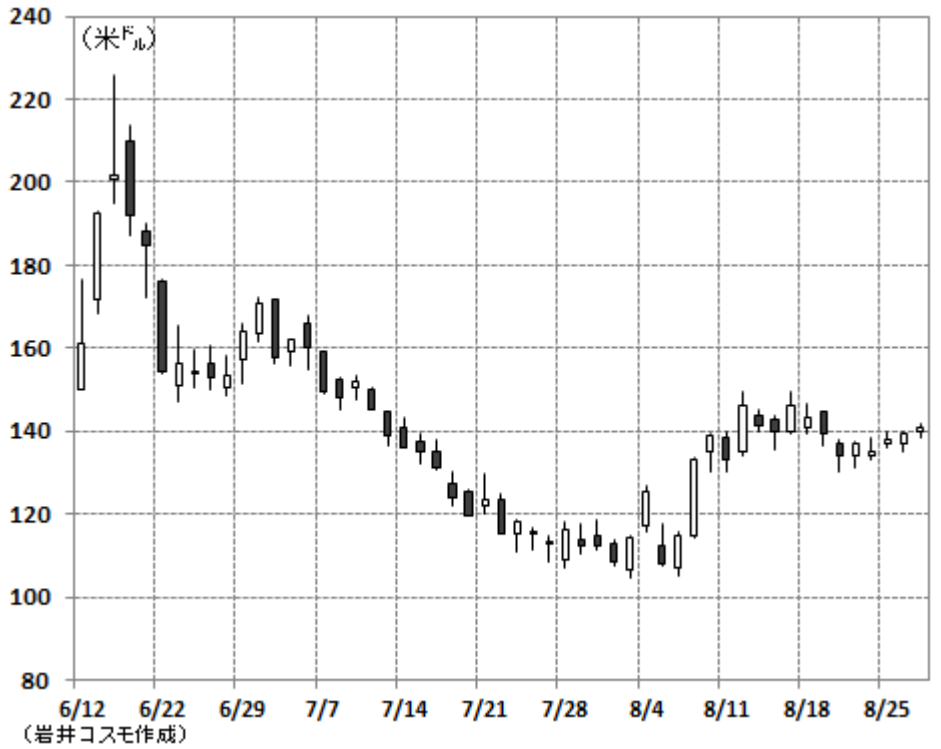
会 社 概 要

2002年にイーロン・マスク氏が設立した宇宙開発・AIインフラ企業。26年6月にナスダック市場に上場(IPO価格:135ドル)、史上最大の857億ドルを調達。従来のロケット開発や衛星通信「スターリンク」に加え、近年はAI分野を急拡大。xAIの統合やAIコーディング企業「カーソル」の600億ドルでの買収を通じ、「宇宙×AI」の垂直統合プラットフォームを構築。次世代AIモデル「グロック 4.5」を展開し、エンタープライズAI市場で主導権を握る。

注 目 ポ イ ン ト

□ **上場後初決算で野心的目標**：上場後初の26年第2四半期決算は92%増収の78億ドルの着地。経営陣は2026年末のARR(年間経常収益)1,000億ドル到達に加え、売上高1兆ドル達成の2030年前倒しという強気な目標を提示。設備投資負担の大きさを警戒する向きもある中、宇宙とAIの融合により史上最速クラスの収益拡大を描く。

□ **「スターシップ」と「宇宙データセンター」**：大型ロケット「スターシップ」は試験飛行の成功を経て実用化へ前進。この輸送力をテコに、地上の電力・冷却限界を突破する「100万基の軌道上AIデータセンター」構想を本格化させる。スターリンクの携帯通信参入や政府・防衛契約の拡大も重なり、他社の追随を許さない市場優位性を確立する期待が大きい。



株 価 チ ャ ー ト (上場来・日足)

株価データ	
株 価(米ドル)	140.87 (08/27)
52週高値(日付)	225.62 (26/06/16)
52週安値(日付)	104.84 (26/08/03)
時 価 総 額	1兆9,120億ドル 304兆7542億円
株価変化率(%)	— (過去6ヶ月間) — (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	— (倍)
PBR	14.6 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	— (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	14,015	35	466	黒転	791	黒転	0.00	0.00
2025/12	18,674	33	-2,589	赤転	-4,937	赤転	-1.69	0.00
四半期業績								
2025/Q2	4,071	—	-970	—	-1,008	—	-0.34	0.00
2026/Q2	7,814	92	-143	赤継	-541	赤継	-0.09	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

AI革命の影の主役、データセンターの電力消費の急増を支える巨大インフラ企業

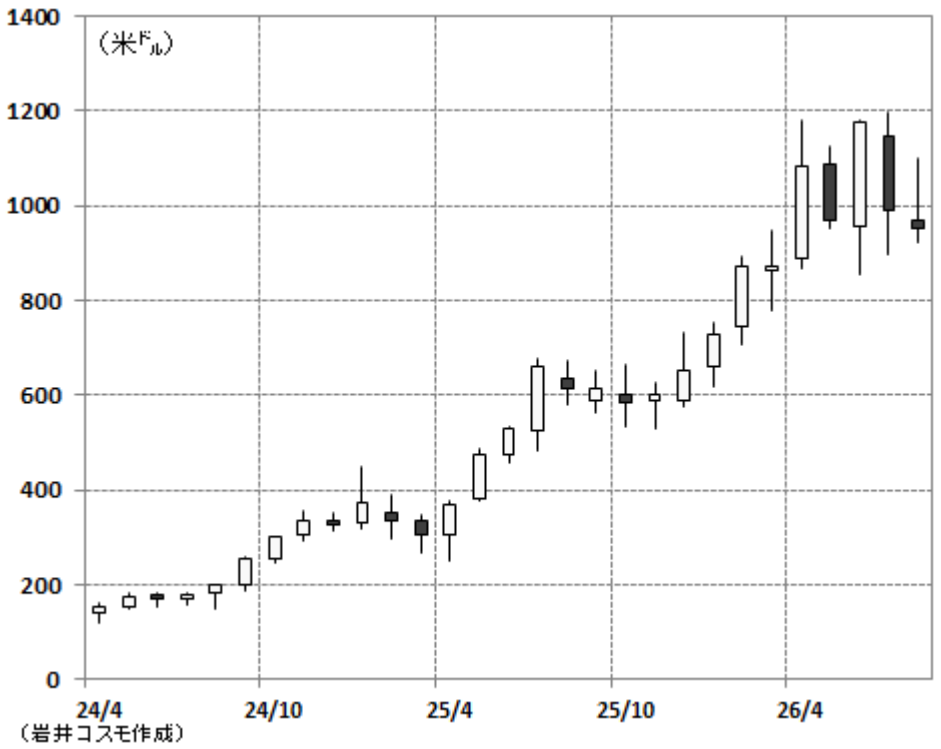
会 社 概 要

24年4月にゼネラル・エレクトリックからスピノフし独立上場したエネルギーインフラ大手。電力(ガスタービン等)、風力、電化(送配電網)の3部門体制で展開。発電・送電設備の製造からシステム導入、稼働後の保守・メンテナンスに至るまでを一貫して提供する独自のバリューチェーンを構築。世界の電力の約30%の供給に関与し、設備の売り切りから長期サービス契約による継続的な安定収益モデルへの移行を進めている。

注 目 ポ イ ン ト

□**ガスタービン5倍増産計画**：4-6月期売上高は22%増収の111億ドルと市場予想を超過、通期売上高見通しを455億～465億ドルへ上方修正。旺盛なAI需要に応え、2030年までにガスタービン製造能力を5倍(年率30GW)に拡大する計画を発表。タービン設置拡大に伴い、高粗利な長期保守サービスの積上がりが中期的な成長を牽引する。

□**AI需要と次世代電化で主導権**：シェブロンがマイクロソフトのDC向け電力供給契約で同社製大型タービンを採用する等、AI特需を直接取り込む。さらに次世代DCの電力効率を高める「800VDC(高圧直流)技術」への移行で恩恵を受ける企業と評されており、送配電設備も含めた需要から更なる利益率向上と資本効率の上昇が期待される。



株 価 チ ャ ー ト (分離上場以来・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	953.83 (08/27)
52週高値(日付)	1195.49 (26/07/06)
52週安値(日付)	530.25 (25/11/21)
時 価 総 額	2,540億ドル 40兆4,910億円
株価変化率(%)	9.2 (過去6ヶ月間) 53.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	43.8 (倍)
株価売上高比率	6.2 (倍)
PBR	21.2 (倍)
税前提当利回り(%)	0.21 (直近年率)
配当成長率(%)	133.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	91.5 (%)
株式ベータ	1.24 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2024/12	34,935	5	471	黒転	1,552	黒転	5.58	0.00
2025/12	38,068	9	1,388	2.9倍	4,884	3.1倍	17.69	0.25
四半期業績								
2025/Q2	9,111	—	378	—	514	—	1.86	0.25
2026/Q2	11,104	22	655	73	668	30	2.47	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米半導体メモリ大手、AI向けのHBMで恩恵、長期契約増で収益安定性と高成長の両立を図る

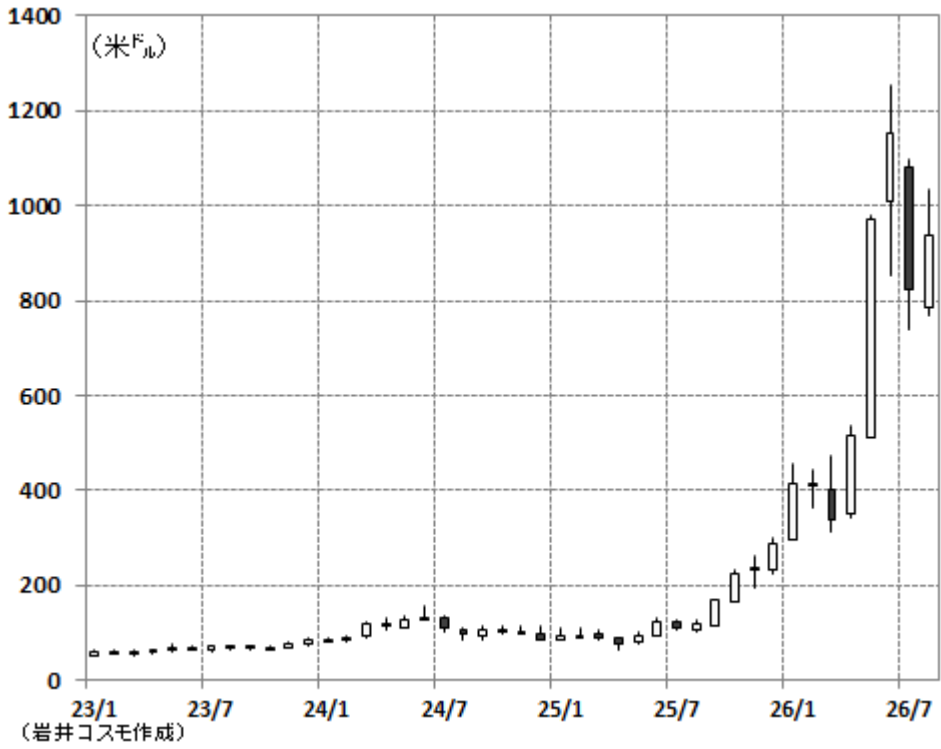
会 社 概 要

1978年設立の米半導体大手。DRAMやNAND型フラッシュメモリなど記憶媒体の設計・製造を手掛ける。サムスン電子、SKハイニックスと共に世界のメモリ市場を寡占。スマホやPC向けに加え、近年はデータセンターや車載向けを強化。特に生成AIサーバに不可欠な広帯域メモリ(HBM)の開発に注力し、エヌビディアの最新GPUにも採用されている。製品別売上構成(25年度)はDRAMが76%、NANDフラッシュ23%。

注 目 ポ イ ン ト

□**深刻な供給逼迫と戦略的長期契約**： AI需要の急増で26年内のHBM供給枠は完売し、品薄は27～28年まで継続する見通し。市況変動を緩和するため、高水準の粗利益率を維持する最低価格条項付きの3～5年長期供給契約を16件締結。売上の約4割をカバーし220億ドルの前受金を受領する等、収益性と業績予見性を高めた。

□**次世代「HBM4」量産へ**： エヌビディアの次世代GPU「ベラ ルービン」向けのHBM4の認定を通過し量産出荷を開始。米国内投資計画を2,500億ドルへ引き上げたほか、最大5,000億円の補助金を得る日本・広島工場の拡張(1.5兆円)やR&D拠点設立(10年間で100億ドル)等、次世代メモリ供給網の強化を強力に推進する。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	935.39 (08/27)
52週高値(日付)	1255 (26/06/25)
52週安値(日付)	114.26 (25/09/02)
時 価 総 額	10,564億ドル 1,68兆3,833億円
株価変化率(%)	126.8 (過去6ヶ月間) 694.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	21.0 (倍)
株価売上高比率	11.7 (倍)
PBR	10.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.06 (直近年率)
配当成長率(%)	15.2 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	66.6 (%)
株式ベータ	1.97 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/08	25,111	62	1,304	黒転	778	黒転	0.70	0.460
2025/08	37,378	49	9,770	7.5倍	8,539	11倍	7.59	0.460
四半期業績								
2025/Q3	9,301	—	2,169	—	1,885	—	1.68	0.115
2026/Q3	41,456	4.5倍	33,318	15倍	28,243	15倍	24.67	0.150

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー、市場シェア獲得に期待

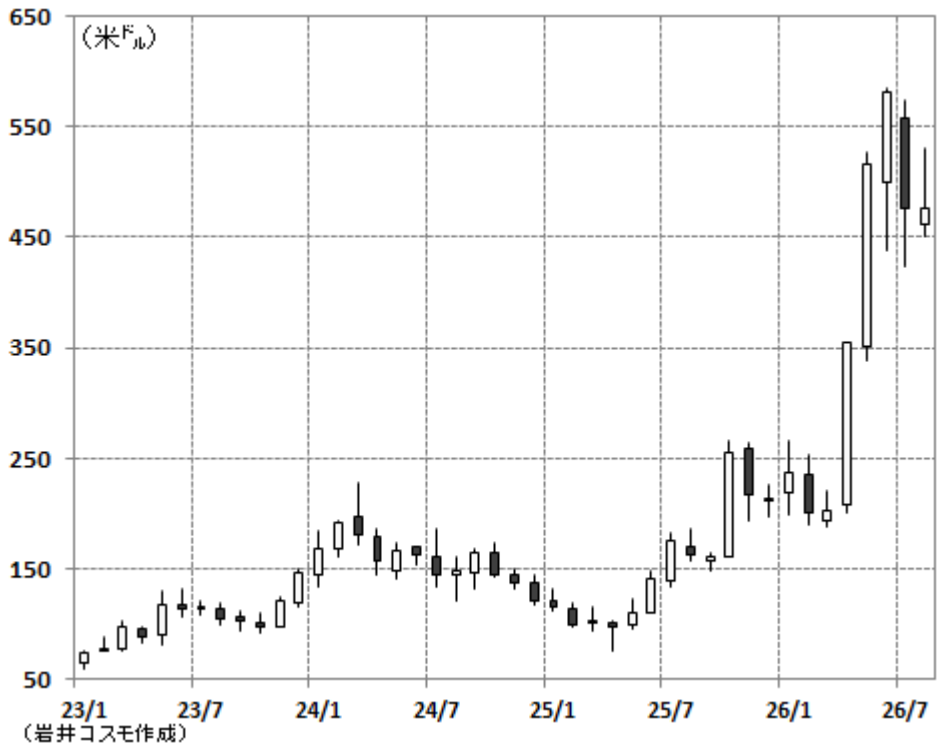
会 社 概 要

1969年設立の老舗半導体メカ-。自社で工場を持たないファブレス型の米半導体大手。PC向けCPU「Ryzen」やサーバ-向けCPU「EPYC」、AI向けGPU「Instinct」を展開。22年にサイリンクスを買収しFPGA分野にも参入。年初のCES 2026では次世代GPUとCPUを統合したAI基盤「Helios」を発表する等、チップ単体からAIシステム全体を提供する企業へと進化。CPUでインテル、GPUでエヌビディアと激しいシェア争いを展開。

注 目 ポ イ ン ト

□**大型契約相次ぐ**：7月開催の自社イベントで30年のAIアクセラレータ市場予測を1.4兆ドルへ上方修正。マイクロソフトのアジュール向けに最新AIサーバ-「ヘリオス」が採用された。アンソロピックとは次世代AIチップ「MI450」を最大2GW分供給する数百億ドル規模の大型契約を締結。エヌビディア一強の中、有力な代替先として確固たる地位を固めた。

□**DC事業が成長を強力牽引**：4-6月期売上高は50%増収の115.4億ドルと過去最高を更新、DC部門が全体の58%を占めた。エ-ジェントAI需要の拡大でサーバ-用CPU売上が5四半期連続で過去最高を更新した。推論関連の買収や提携でAI環境を強化し、CEOは27年のDC売上高を現在の2倍超へ拡大する見通しを明言した。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	476.67 (08/27)
52週高値(日付)	584.7 (26/06/30)
52週安値(日付)	149.24 (25/09/08)
時 価 総 額	7,782億ドル 1,24兆0.296億円
株価変化率(%)	138.1 (過去6ヶ月間) 185.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	132.4 (倍)
株価売上高比率	18.8 (倍)
PBR	11.6 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	10.1 (%)
株式ベータ	1.60 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2024/12	25,785	14	1,900	374	1,641	92	1.00	0.00
2025/12	34,639	34	3,694	94	4,335	164	2.65	0.00
四半期業績								
2025/Q2	7,685	—	-134	—	872	—	0.54	0.00
2026/Q2	11,536	50	1,990	黒転	2,297	163	1.38	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

通信接続用半導体大手、アマゾンのAI用半導体を手掛ける、M&Aで光通信分野を強化

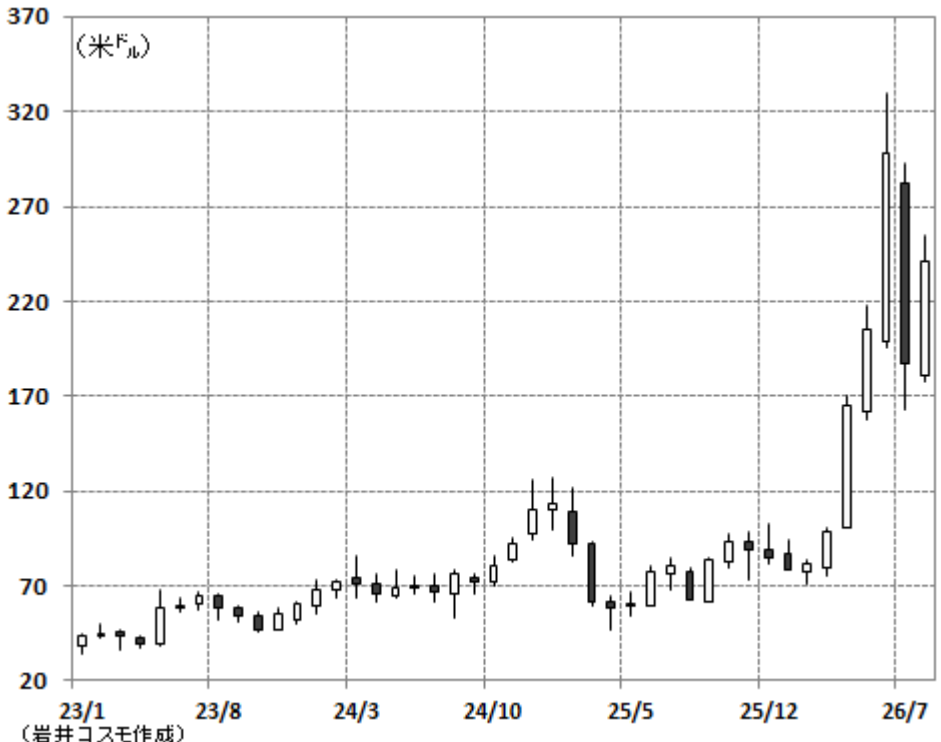
会 社 概 要

1995年創立のファブレス半導体メーカで、台湾TSMC等に生産委託。データセンターや通信インフラ向け半導体を手掛ける。祖業はストレージ分野だが、現在はAI向け通信事業等に完全にシフト。光通信を高速化する製品を豊富に揃え、近年は特定用途向けカスタム半導体(ASIC)の開発を強化し、24年にアマゾンAWSと協業拡大。26年2月に光電融合技術を持つセレスティアルAIを買収した。S&P500指数構成銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□ **アルファベットと大型提携**: ゲーグルの独自AIチップ「TPU」エコシステム向けカスタムシリコンに関する包括契約を締結したことを8月に発表。売上増に応じて権利確定する最大122億ドル相当(約5,900万株)の成果連動型ワントを発行した。累計最大1,200億ドル規模の潜在事業機会を取り込み、カスタムAI半導体分野での業界優位を向上させた。

□ **今来期予想上方修正**: 5-7月期決算は売上高が前年同期比37%増の27.4億ドル、調整後EPSが0.94ドルと市場予想を超過。データセンター部門が同46%増の21.7億ドルと成長が加速。AI向けカスタム半導体の需要加速を背景に、今期売上予想を約120億(従来115億)ドルへ、来期売上予想を約180億(同165億)ドルへ上方修正した。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	241.45 (08/27)
52週高値(日付)	329.86 (26/06/18)
52週安値(日付)	61.44 (25/09/04)
時 価 総 額	2,112億 ^{ドル} 33兆6,664億円
株価変化率(%)	195.6 (過去6ヶ月間) 222.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	157.2 (倍)
株価売上高比率	22.3 (倍)
PBR	11.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.10 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	16.0 (%)
株式ベータ	1.75 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/01	5,767	5	-720	赤継	-885	赤継	-1.02	0.24
2026/01	8,195	42	1,323	黒転	2,670	黒転	3.07	0.24
四半期業績								
2026/Q2	2,006	—	290	—	195	—	0.22	0.06
2027/Q2	2,739	37	460	58	308	58	0.33	0.06

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

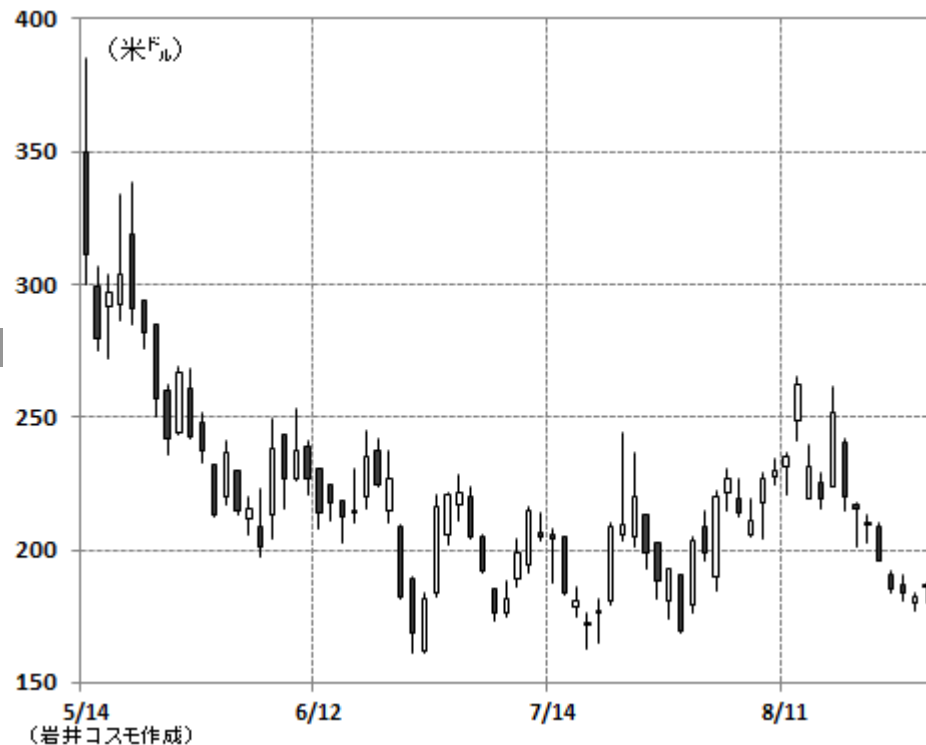
会 社 概 要

2016年設立。切断前のウェハ-1枚をそのまま使った超巨大AI半導体「ウェハスケール・エンジン」を手掛け、低遅延・超高速処理を強みにAI推論インフラ・データセンター(DC)を提供する米IT企業。26年5月にナスダック市場に上場(IPO価格:185ドル)、約55.5億ドルを調達。オープンAIやAWSに加え、7月にはAMDやクラウドストライク等との提携を発表。エスビディア陣営に対抗する主要プレイヤーとして存在感を高めている。

注 目 ポ イ ン ト

□**大手連携と新製品で加速**: AI市場が「推論」重視へシフトする中、超高速処理能力で強みを発揮。オープンAIやAMDとの提携推進、欧州でのデータセンター拡張を進める。8月の年次イベントでは入手困難なHBM(高帯域幅メモリ)に依存しない新型スパコン「CS-4」を発表。世界的な供給網制約を回避し、競合を凌駕する技術優位性を確立した。

□**見通しは上方修正**: 4-6月期決算は、需要急増に伴う一時的なシステム借り戻し費用が重荷となり、粗利益率低下と赤字拡大を記録。一方、旺盛なAI需要を背景に、26年通期のコア売上高見通しを8.8-8.9億ドルへ上方修正。供給体制の拡充と巨額の受注残消化を通じ、27年の売上高3倍計画を掲げる等中長期の成長期待は高い。



株 価 チ ャ ー ト (上場来・日足)

株価データ	
株 価(米ドル)	186.67 (08/27)
52週高値(日付)	385 (26/05/14)
52週安値(日付)	160.99 (26/06/26)
時 価 総 額	454億ドル 7兆2,291億円
株価変化率(%)	— (過去6ヶ月間) — (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	14.2 (倍)
PBR	4.6 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	— (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	290	—	-101	—	-485	—	-9.90	0.00
2025/12	510	76	-146	赤継	88	黒転	1.38	0.00

四半期業績

2025/Q2	103	—	-57	—	310	—	1.91	0.00
2026/Q2	180	74	-477	赤継	-451	赤転	-2.98	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

大きく変容する資本市場を牽引、多角的な恩恵を受ける「隠れたAI銘柄」

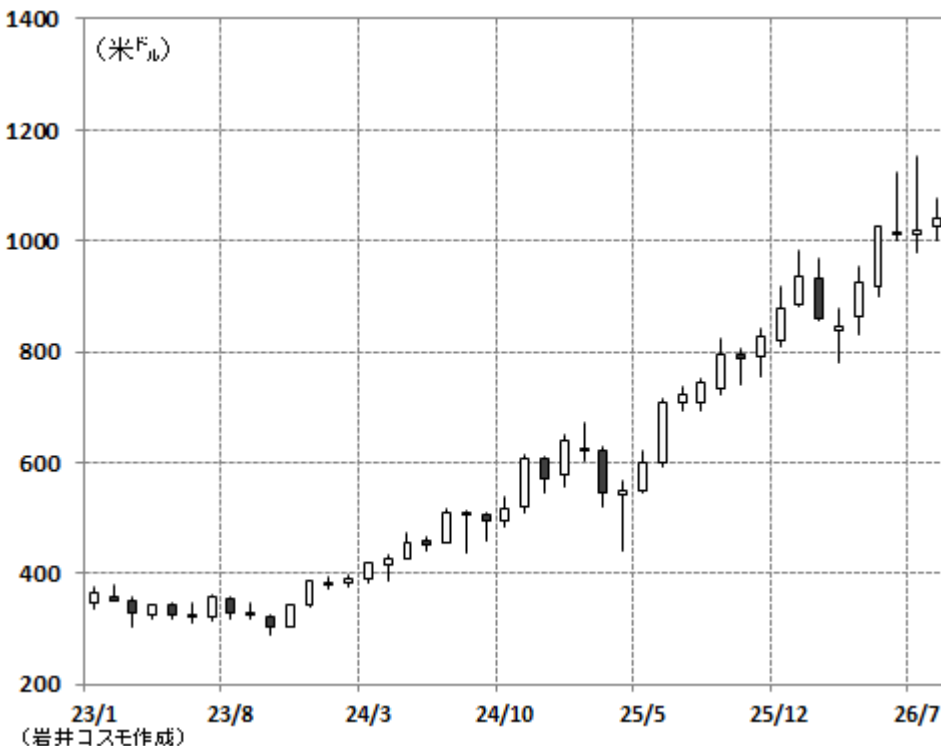
会 社 概 要

1869年設立の世界最大級の投資銀行。M&A(合併・買収)の助言業務に伝統的な強みを持ち、グローバルM&Aランキングで首位の実績を誇る。株式や債券のトレーディング業務、企業の資金調達を支援する投資銀行業務、資産運用業務などを幅広く展開。近年は積極的な自社株買いや増配といった株主還元を実施、資本効率を高めている。社員数は約46,200名(26年6月末)。2013年にNYダウ平均採用。

注 目 ポ イ ン ト

□ **投資銀行の商機再拡大**：米国企業の資金政策が、従来の「株主還元」重視から「資金調達からの設備投資」重視へと大きく変容している。巨額のAIインフラ投資や米国製造業の回帰を背景に、企業の資金調達活動が活発化し、投資銀行の商機が拡大。M&A助言や資金調達支援等で中心的な役割を演じる同社に追い風となっている。

□ **隠れたAI恩恵銘柄**：同社はAI化の波から多角的な恩恵を享受。第一に活況なAI相場を背景に株式トレーディング収入が好調であること。第二にアンソビックなどのAI関連企業の大型IPO・資金調達の主幹事を務めている点。第三に自社内へのAI導入によるリストラ効果(予測精度向上や自動審査等)が高く、内部の収益性の向上等がある。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	1040.87 (08/27)
52週高値(日付)	1153.78 (26/07/15)
52週安値(日付)	722.23 (25/09/02)
時 価 総 額	3,151億ドル 50兆2,231億円
株価変化率(%)	21.1 (過去6ヶ月間) 38.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	15.9 (倍)
株価売上高比率	2.4 (倍)
PBR	2.8 (倍)
税前配当利回り(%)	1.92 (直近年率)
配当成長率(%)	41.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	18.3 (%)
株式ベータ	1.25 (対S&P500)

通期業績								
決算期	経常収益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	税引前利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	53,512	16	18,397	71	13,525	71	40.54	11.50
2025/12	58,283	9	21,852	19	16,300	21	51.32	14.00
四半期業績								
2025/Q2	14,583	—	4,958	—	3,473	—	10.91	3.00
2026/Q2	20,338	39	8,563	73	6,399	84	20.98	4.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ハイパースケーラー受注急増とセキュリティ強化で迎える第2の黄金期

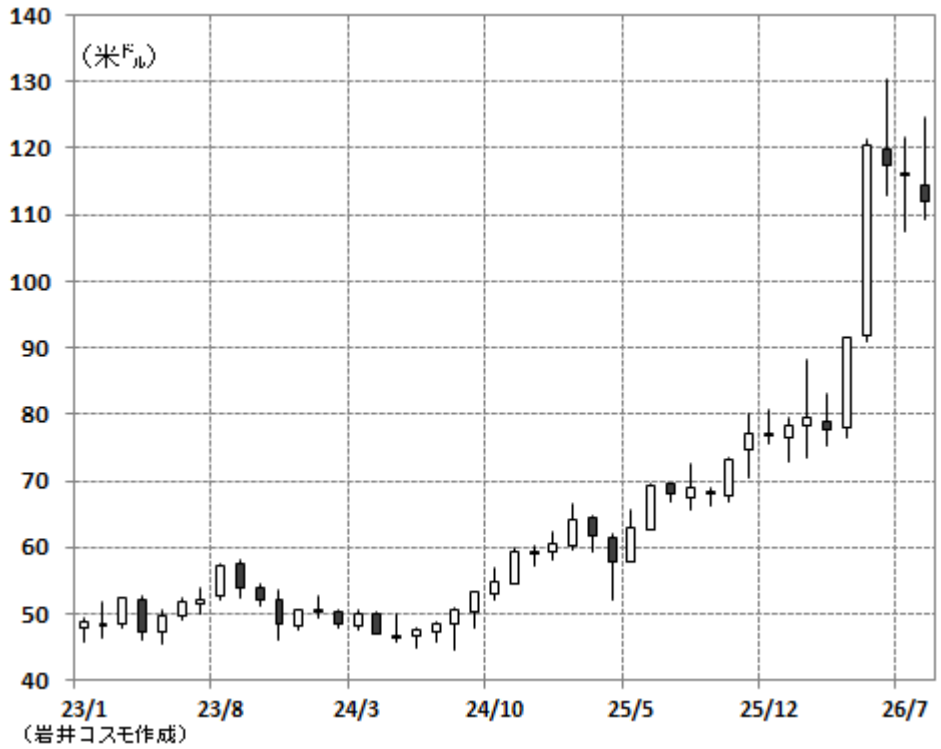
会 社 概 要

1984年創立。ルーターやスイッチなどネットワーク機器で高いシェアを誇る世界的通信機器大手。光通信部品のアカシア(21年)やデータ分析のスプラunk(24年)の買収を通じ、光通信/セキュリティ/ソフトウェア領域を大幅強化。従来のハード売り切り型から、継続課金(サブスクリプション)型へ事業モデルの転換を進め、現在は総売上上の約半数をサブスクが占める。株主還元にも手厚い、NYダウ工業株平均構成銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□AI関連の大規模受注：クラウド大手からのAI向けネットワークインフラ需要が急増。独自開発の半導体や超高速光通信部品が牽引し、26年度AIインフラ受注は目標を上回る93億ドルに到達。27年度AI関連売上高見通しも従来の60億ドルから75億ドルへ引き上げられた。エスビディア等との提携による製品拡充も進み、AI投資の恩恵を享受する。

□セキュリティ分野で存在感：買収したスプラunkの統合が結実し、自社通信網と最高峰のログ分析を融合した次世代サイバー防衛を推進。直近のセキュリティ部門売上高は二桁成長を継続、サブスク化の進展で年間経常収益は321億ドルに拡大。高収益なソフトウェア企業へ構造転換し、AIとデータ主導のプラットフォームとして再評価の機運が高まる。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	112.15 (08/27)
52週高値(日付)	130.36 (26/06/04)
52週安値(日付)	66.135 (25/09/12)
時 価 総 額	4,420億ドル 70兆4,555億円
株価変化率(%)	41.1 (過去6ヶ月間) 63.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	33.5 (倍)
株価売上高比率	7.0 (倍)
PBR	8.8 (倍)
税前配当利回り(%)	1.50 (直近年率)
配当成長率(%)	2.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	27.3 (%)
株式ベータ	0.95 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/07	56,654	5	11,760	-3	10,180	-1	2.55	1.62
2026/07	63,325	12	15,368	31	13,267	30	3.33	1.66
四半期業績								
2025/Q4	14,673	—	3,087	—	2,550	—	0.64	0.41
2026/Q4	17,252	18	4,264	38	3,859	51	0.97	0.42

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

防衛から民間大手まで広範に使用可能なデータ分析プラットフォームを提供

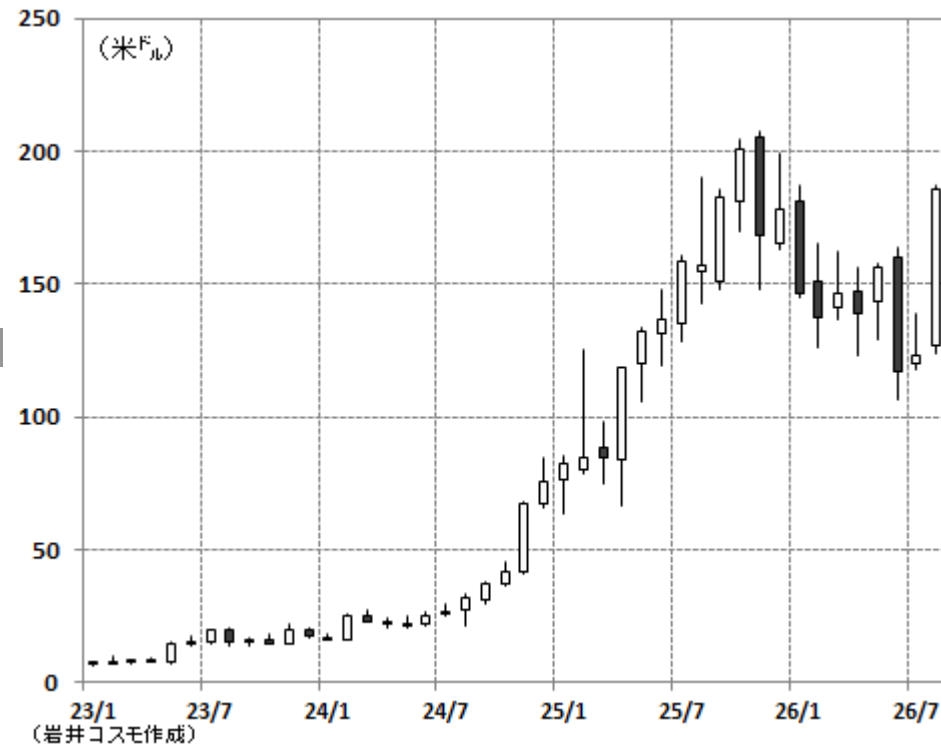
会 社 概 要

データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏やCEOのアレキサンダー・カープ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析・抽出する技術に定評。最大の強みは優秀な技術者が直接顧客先に常駐して課題解決を伴走支援する「フォワード・デプロイト・エンジニア(FDE)」体制にある。「パランティア」は映画「指輪物語」の水晶玉に由来。同銘柄はS&P500(24年9月)やナスダック100(24年12月)に採用された。

注 目 ポ イ ン ト

□**米商業部門が脅威的な急成長**：4-6月期売上高は前年同期比93%増の19.4億ドルと予想超過、通期売上高見通しも81.5億～81.6億ドルへ大幅に上方修正。特に米商業(民間)部門が同149%増の7.64億ドルと驚異的な伸びを記録。AIプラットフォーム「AIP」の需要が会社想定を超え伸びており、企業向けAI収益化の主導権を握る。

□**米政府向けとAI統制基盤の強み**：米国全体売上高は同115%増の15.7億ドルへ加速。エスビティアと米国政府向けAI開発で戦略提携し、機密性の高いソブリン環境での運用体制を確立。複数モデルを柔軟に切り替え機密データを管理する「オーケストレーション層(AI管理レイヤー)」として独自の競争優位性を高め、成長持続への信頼を高めた。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	185.93 (08/27)
52週高値(日付)	207.52 (25/11/03)
52週安値(日付)	106.37 (26/06/25)
時 価 総 額	4,466億ドル 71兆1,828億円
株価変化率(%)	35.5 (過去6ヶ月間) 18.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	160.6 (倍)
株価売上高比率	72.2 (倍)
PBR	45.7 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	38.4 (%)
株式ベータ	1.95 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	2,866	29	310	2.6倍	462	2.2倍	0.19	0.00
2025/12	4,475	56	1,414	4.6倍	1,625	3.5倍	0.63	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q2	1,004	—	269	—	327	—	0.13	0.00
2026/Q2	1,935	93	912	3.4倍	1,062	3.3倍	0.41	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

クラウド監視プラットフォーム最大手、AI監視の新市場を開拓

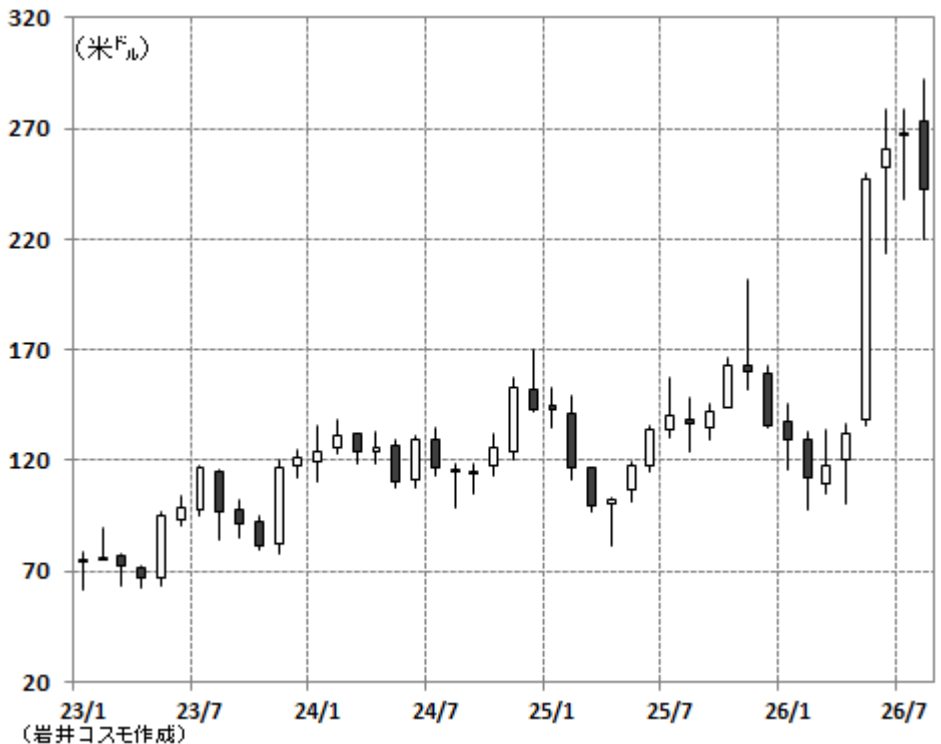
会 社 概 要

2010年創立。クラウド環境のシステム監視(オブザーバビリティ)プラットフォームを提供するSaaS企業。サーバやアプリ、ネットワーク等の稼働状況やログデータを一元的に収集・可視化し、障害の早期発見と解決を支援する。近年はAIを活用した監視機能(LLMオブザーバビリティ)や、クラウドセキュリティ領域への拡張を進めており、設計段階からセキュリティを組み込む開発手法を提唱し存在感を高めている。本社はニューヨーク。

注 目 ポ イ ン ト

□業績好調続き、通期上方修正：4-6月期売上高は36%増収の11.2億ドルを記録、売上共に調整後1株利益やフリーキャッシュフローも市場予想を上振れ、26年通期見通しを上方修正した。懸念された最大手顧客との巨額契約を無事更新したほか、エンタープライズなど非AI部門の成長率も20%台後半へ再加速し中核事業の底堅さを示す。

□AI製品拡充と自律化を牽引：7月に企業向けAIモデル開発基盤を持つ「アダプティブML」を買収しAI投資を加速。大規模言語モデル監視や生成AIアシスタント「Bits AI」、「MCPサーバ」の利用が急増しており、企業IT運用の自律化を推進。従来のシステム監視からAI領域へと展開を広げ、AIファースト製品の需要急増を取り込み更なる成長を目指す。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	242.93 (08/27)
52週高値(日付)	292.35 (26/08/05)
52週安値(日付)	98.215 (26/02/24)
時 価 総 額	875億ドル 13兆9,422億円
株価変化率(%)	117.0 (過去6ヶ月間) 84.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	477.5 (倍)
株価売上高比率	21.6 (倍)
PBR	20.0 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	4.7 (%)
株式ベータ	1.21 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	2,684	26	54	黒転	184	278	0.52	0.00
2025/12	3,427	28	-44	赤転	108	-41	0.31	0.00
四半期業績								
2025/Q2	827	—	-36	—	3	—	0.01	0.00
2026/Q2	1,121	36	5	黒転	45	17倍	0.12	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

■商号等

取引注意事項

商号等： 播陽証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第29号

加入協会：日本証券業協会

■播陽証券の手数料及び投資リスクについて

- ①上場国内株券等委託取引の際には、約定代金に対して最大1.2265%(税込み、ただし最低2,750円)の委託手数料をご負担いただきます。
 - ②上場外国株券等委託取引の際には、一律、約定代金(円貨)の2.2%(税込)の委託手数料及び現地取引所税等の取引手数料をご負担いただきます。
 - ③上場外国株券等店頭取引の際には、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ④投資信託のお取引の際には、下記の販売手数料及び信託報酬等の諸経費をご負担いただきます。
 - ☐販売手数料(購入価額に対して最大3.85%(税込))
 - ☐信託財産留保額(換金申込日、または換金申込日の翌営業日の基準価格に対して最大0.50%)
 - ☐信託報酬(信託財産の総資産総額に対して年率最大2.2%(税込))
 - ☐その他、ファンドの監査費用等
- ◇株式や投資信託は投資元本が保証されているものではなく、価格や為替の変動により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、お取引の際には、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読み下さい。

■免責事項

- 当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としております。当資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて播陽証券がお客様にご提供いたしますが、見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。
 - ※本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。
- 当資料の情報を基に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、播陽証券は理由の如何を問わず、一切責任を負いません。